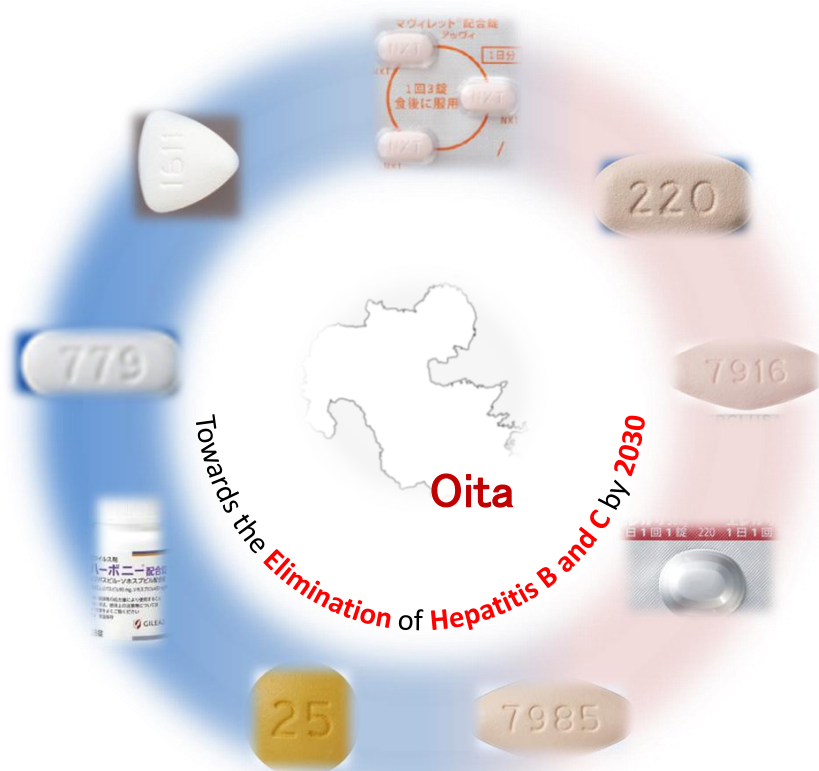


大分県

肝炎診療連携パンフレット2019

—肝炎撲滅に向けて—



大分大学医学部附属病院
肝疾患相談センター

目 次

- ◆ 改訂版によせて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ◆ 拠点病院について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆ 大分県の肝炎対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◆ 肝疾患診療連携協力医療機関・・・・・・・・・・・・ 10

肝疾患相談センターの活動報告

- ◆ 市民公開講座のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ◆ 肝炎医療コーディネーターについて・・・・・・・・ 26
- ◆ 大分肝炎ネットワーク in 植田から大分へ・・・・ 29
- ◆ 肝臓教室、世界肝炎デーイベント・・・・・・・・ 30
- ◆ 相談件数、家族支援講座・・・・・・・・・・・・・・ 31
- ◆ 肝臓手帳、肝炎シールについて・・・・・・・・・・ 33
- ◆ C型肝炎、B型肝炎・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- ◆ 大分県の肝臓専門医・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- ◆ 肝疾患相談センターより・・・・・・・・・・・・・・ 37
- ◆ 今後の予定、あとなぎ・・・・・・・・・・・・・・ 38

「平成の時代と共に」

肝疾患相談センター

清家正隆

平成もあと残すところ 2 か月になりました。平成の世が始まった 1989 年、HCV ウイルスの断片がカイロン社により発見され、この世にその正体を現しました。C 型肝炎の診断法が飛躍的に進歩し、平成 4 年からはインターフェロンが治療薬として、導入されました。その当時 5% くらいの患者さんしか、ウイルスを排除できませんでした。リバビリンという薬剤を併用するようになりましたが、つらい副作用と治療期間の延長により、患者さんに大変な苦勞をしました。

インターフェロンがペグ化され、週に 1 回の注射になりましたが、それでも、40% の治療効果でした。その上、治療を受ける人は、若くて肝機能の良い人のみでした。このペグリバという治療が平成の中頃、平成 16 年（2004 年）から、約 10 年間、C 型肝炎に対する標準治療とされました。

平成 26 年（2014 年）に飲み薬で、しかも 6 か月間で、約 90% の人が治るようになりました。高齢者も肝硬変の方も治るようになり、一気に進歩しました。それから 5 年、治療期間は短縮され、2 か月となり、ほぼ 100% の治癒率になりました。

平成最後の本年（2019 年）、進行した C 型肝炎硬変（非代償性肝硬変）や、今までの治療がうまくいかなかった患者さんに対して、エプクルーサが保険収載され、C 型肝炎の治療の選択肢がすべて出揃いました。C 型肝炎に対する治療の歴史は平成の時代そのものであり、感慨深いものがあります。

重い肝臓病に対して、29 年前の平成元年（1989 年）11 月 13 日、島根医科大学で日本最初の生体肝移植が行われ、その扉が開かれました。肝移植の進歩も平成と歩調を合わせるかのように今日に至っています。

B 型肝炎対策は、平成 12 年（2000 年）の核酸アナログ製剤の登場や平成 28 年（2016 年）からのユニバーサルワクチネーションの開始などで、一気に進み、制御可能な肝炎となりました。

不治の病といわれた肝炎の根治と撲滅を目指した 31 年間の平成の軌跡は、医療行政の施策の成功例として、歴史に刻まれることになるでしょう。国民病と考えられていた肝炎の撲滅が目前に迫ってきたことを皆さんと喜びたいと思います。残された課題もありますが、近い将来ウイルス肝炎が撲滅されるものと思います。

そして、次なる目標は、健康で長生きするために、「肝臓」がいかに重要な臓器であるかということを、皆さんとともに考えていきたいと思います。

この小冊子が皆さんのお役にたてれば幸いです。

2019 年 03 月 08 日

◆拠点病院について

厚生労働省は平成 19 年 1 月 26 日全国 C 型肝炎対策医療懇談会報告書「都道府県における肝炎検査後肝疾患診療体制に関するガイドライン」において各都道府県において、肝疾患診療体制の確保と診療の質の向上を図ること示しました。これに基づき大分県では

肝疾患診療体制の整備のため、大分県は平成 20 年 4 月、大分大学医学部附属病院を、大分県の肝疾患診療拠点病院に選定しました。拠点病院の業務は、

1. 肝炎診療のネットワーク、つまり、かかりつけ医、専門医との協力体制を構築し、患者さんが安心・安全に肝炎治療ができるようにすること
2. 患者さん、家族、医療機関からの相談に対応すること
3. 肝疾患の研修会を開催し啓発活動を行うこと
4. 肝疾患に関する専門医療機関と協議の場を設定することです。

さらに専門医療機関として選定された肝疾患診療協力医療機関として 12 医療施設（のちに 13 医療機関）と連携し、地域によって診療に偏りのないよう、患者さんが等しく最新の治療が受けられるようなしくみを構築することを目指しています。

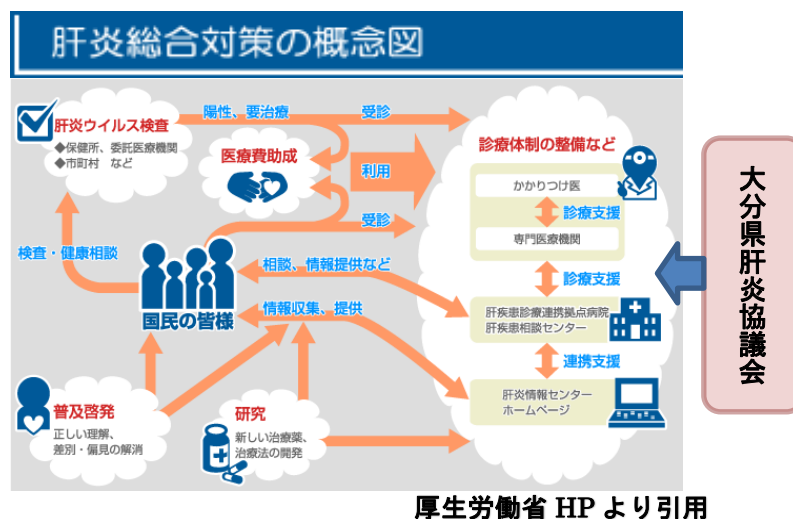
現在大分県の肝炎診療体制は、大分県肝炎対策協議会で方針をしめし、肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会で、質の高い肝疾患診療ができるよう実務協議を行なっています。

その体制について表 1 および図に示します。

表 1

大分県肝炎対策協議会	県医師会代表
	看護協会代表
	薬剤師会代表
	大分市保健所
	保健所長会代表
	肝臓専門医代表
	患者代表
肝疾患診療協力医療機関	拠点病院
	健康づくり支援課

肝疾患診療協力医療機関	北部医療圏	中津市民病院
		宇佐高田医師会病院
		宮田内科医院
	東部医療圏	別府医療センター
		新別府病院
		厚生連鶴見病院
	中部医療圏	アルメイダ病院
		大分医療センター
		大分県立病院
		大分赤十字病院
	南部医療圏	南海医療センター
	豊肥医療圏	豊後大野市民病院
	西部医療圏	岩尾病院



大分県肝炎協議会、肝疾患診療協力病院、肝疾患連携拠点病院、行政の連携を円滑にすすめ、一人でも多くの患者さんが適切な治療を受けることができるように活動しています。

平成 20 年に始まった医療費助成も大分県で、国・県の医療費助成を受けた方も、平成 30 年 10 月で C 型肝炎ではのべ 4923 人、B 型肝炎では 1517 人になり、大きな成果をあげています。

◆肝疾患相談センター

拠点病院を中心として、地域における専門医療機関・かかりつけ医間の診療ネットワークのさらなる充実を図る必要があります。その中心的な役割を担うのが肝疾患相談センターです。

平成 20 年度から厚生労働省では、「肝炎治療 7 ヶ年戦略」に基づき、肝炎の早期発見・早期治療を進めるため、肝炎のインターフェロン治療に対する医療費助成、検査の促進、研究の推進など、肝炎総合対策を実施しています。平成 22 年 1 月、「肝炎対策基本法」が施行され、同年 5 月「肝炎対策に関する基本的な指針」が告示され、肝炎に関する基礎、臨床および疫学研究を総合的に推進しています。さらに、肝炎治療戦略会議で「肝炎研究 7 ヶ年戦略」の中間年である平成 23 年度には、平成 24 年度を初年度とする新たな「肝炎研究 10 ヶ年戦略」として、肝炎研究の方向性が提示されました。

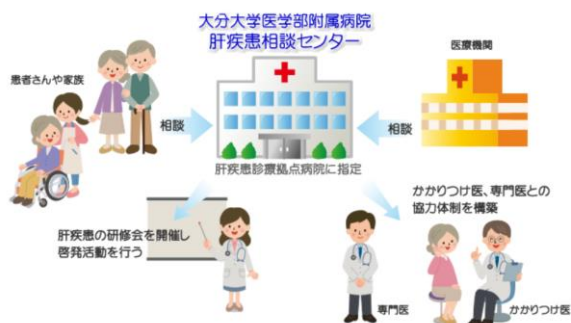
この間、C型肝炎の治療は著しく進歩し、平成 26 年 9 月からいよいよインターフェロンフリーの治療が導入され、高齢者や代償性肝硬変の患者に対象が一気に広がりました。平成 31 年 2 月には、非代償性肝硬変やこれまでの経口剤で治療できなかった患者さんへ、新たな薬剤が保険収載され、C型肝炎はほぼ治癒が期待できる状況になりました。

B型肝炎に対する核酸アナログ治療も選択肢が増え、ほぼコントロールできるようになりました。また、母子感染についても平成 28 年度から生まれてくる新生児すべてに B型肝炎ワクチンが投与されるようになり（ユニバーサルワクチネーション）、感染予防対策が一気に進みました。

さらに肝硬変や肝がん治療も進歩しています。肝硬変の治療選択肢は増え、肝がんも進行肝がんに対して、分子標的薬が効果をしめし、いよいよ来年は免疫療法が登場する予定です。

肝炎から肝硬変、肝がんまでトータルマネジメントができる時代になりました。治療法の進歩は早く、高度の専門的知識も必要となっています。肝疾患相談センターでは肝臓専門医、看護師、相談員が丁寧にお答えし、肝疾患の正確で、最新の情報提供を行い安心して治療ができるようにサポートします。また、県内で行っている市民公開講座、肝臓病教室、肝炎ネットセミナーなどの情報も提供します。

このパンフレットでは、平成 15 年から行っている「日本肝臓学会主催市民公開講座」に加え、「肝炎医療コーディネータ研修会」「肝炎ネット in 大分」「医療従事者セミナー」「相談例」など平成 20 年から行なってきた活動報告も併せて紹介します。ご参照いただければ幸いです。また、今回は改訂版として県内の肝疾患診療連携協力病院の紹介を更新しております。地域での肝炎患者さんの診療にお役に立てればと思います。次の章では大分県の肝炎ウイルス検査と医療費助成について最新情報を紹介します。



文責 清家正隆

◆大分県の肝炎対策

1 肝炎ウイルス検査について

ご自身が肝炎ウイルスに感染しているかどうかを確認するためのB型及びC型肝炎ウイルス検査についてご紹介します。



(1) 肝炎ウイルス検査の概要

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、血液検査(少量の採血)で判明し、検査結果についても、概ね1週間程度でわかります。

検査を受けたことがない方や、過去に輸血を受けたことのある方は、検査を受けてみましょう。

(2) 肝炎ウイルス検査の受け方

大分県では、ア:県と委託契約を締結した医療機関や、イ:保健所においてB型及びC型肝炎ウイルス検査を無料で実施しています。

ア:医療機関における無料の肝炎ウイルス検査

対 象 者:過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方

実施場所:県内の協力医療機関

※検査が受けられる医療機関については、大分県ホームページ又は保健所で御確認ください。

イ:保健所における無料の肝炎ウイルス検査

対 象 者:過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方

実施場所:各保健所

※検査は予約制ですので、事前に保健所にお問合せください。



詳しくは、大分県ホームページをご覧ください。

大分県 肝炎無料検査

検索

(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/12210/kanenmuryo.html>)

なお、県内の市町村においても、肝炎ウイルス検査を実施しています。

詳しくは、お住まいの市町村へお問合せください。

(3) 肝炎ウイルス検査の実施状況(医療機関及び保健所実施分)

【B型肝炎】	検査人数	陽性者数	陽性率
平成20年度	786	17	2.2%
平成21年度	706	7	1.0%
平成22年度	498	7	1.4%
平成23年度	539	8	1.5%
平成24年度	471	2	0.4%
平成25年度	837	9	1.1%
平成26年度	1,195	7	0.6%
平成27年度	1,396	12	0.9%
平成28年度	1,204	10	0.8%
平成29年度	1,125	15	1.3%
合計	8,757	94	1.1%

【C型肝炎】	検査人数	陽性者数	陽性率
平成20年度	821	20	2.4%
平成21年度	731	18	2.5%
平成22年度	494	9	1.8%
平成23年度	533	7	1.3%
平成24年度	470	2	0.4%
平成25年度	838	7	0.8%
平成26年度	1,201	8	0.7%
平成27年度	1,399	13	0.9%
平成28年度	1,200	16	1.3%
平成29年度	1,121	8	0.7%
合計	8,808	108	1.2%

2 ウイルス性肝炎重症化予防事業について

ウイルス性肝炎は、適切な治療を受けることで重症化予防が可能な疾患ですが、陽性者の多くの方が医療機関を受診していない現状があるため、陽性者に対する精密検査費用の助成やフォローアップなどを行うことにより早期治療につなげ、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を図ることを目的に、下記事業を実施しています。

詳しくは、大分県ホームページをご覧ください。

大分県 肝炎重症化予防

検索

(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/12210/kanenjuusyuka.html>)

1 検査費用助成

※(1)初回精密検査及び(2)定期検査ともに県内9か所の保健所・保健部が申請窓口となります。

ただし、大分市にお住まいの方は、大分県福祉保健部健康づくり支援課が窓口となります。

※検査が受けられる医療機関については、大分県ホームページ又は保健所で御確認ください。

(1) 肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方は、初回精密検査を受けましょう。

(初回精密検査費用の助成)

(2) 肝炎ウイルスによる慢性肝炎・肝硬変・肝がんで療養中の方は、定期検査を受けましょう。

(定期検査費用の助成)

<対象者>

(初回精密検査)

以下の要件にすべて該当する方となります。

(1)大分県内に居住している方

(2)1年以内に保健所若しくは委託医療機関または市町村の健康増進事業の
肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方

(3)医療保険各法の規定による被保険者または被扶養者並びに高齢者の医療の確保に
関する法律の規定による被保険者

(4)過去に精密検査を受けたことがない方

(5)フォローアップに同意した方

(定期検査)

以下の要件にすべて該当する方となります。

(1)大分県内に居住している方

(2)肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎、肝硬変及び肝がんの患者

(3)医療保険各法の規定による被保険者または被扶養者並びに高齢者の医療の確保に
関する法律の規定による被保険者

(4)肝炎治療特別促進事業の受給者証の交付を受けていない方

(5)住民税非課税世帯に属する者

又は市町村民税(所得割)課税年額が235,000円未満の世帯に属する者

(6)フォローアップに同意した方・肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎、
肝硬変及び肝がん患者

<助成回数>

(初回精密検査) 1回

(定期検査) 年度内につき2回(初回精密検査の検査回数を含む。)

【定期検査における注意点】

＜自己負担限度額について＞

助成額は、ウイルス疾患指導料及び検査に関連する費用として県が認めた費用となり、1回につき右表に定める自己負担額限度額を控除した額を助成します。
(当該控除した額が零以下となる場合、助成は行われないことに御注意下さい。)

定期検査費用の助成における自己負担限度額表

階層区分	自己負担限度額 (1回につき)	
	慢性肝炎	肝硬変 肝がん
市町村民税(所得割)課税年額 235,000円未満の世帯に属する者	2,000円	3,000円
住民税非課税世帯に属する者	0円	0円

＜申請書類等について＞

診断書料等は助成対象外であり、別途費用が必要となります。

申請にあたっては、申請書類の作成にかかる費用(診断書料、世帯全員の住民票や世帯全員の住民税非課税証明書等)と支払った検査費用とを比較してください。場合によっては、助成される費用より、申請書類の作成にかかる費用が高くなる場合がありますので、医療機関の窓口で診断書料の確認をお願いします。

申請書類等についての詳細は、大分県ホームページをご覧ください。

大分県 肝炎重症化予防

検索

(<http://www.pref.oita.jp/soshiki/12210/kanenjyuusyouka.html>)

2 陽性者フォローアップ事業

調査票を送付する等により、医療機関の受診状況や診療状況を確認させていただきます。
検査未受診等の場合は、電話等をさせていただきます。

＜対象者＞

次の(1)及び(2)に該当する方

- (1) 保健所または委託医療機関の肝炎ウイルス検査で陽性と判断された方でフォローアップ事業参加に同意された方
- (2) 肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎、肝硬変、肝がんの患者

＜同意書について＞

保健所の肝炎ウイルス検査で「陽性」といわれた方は、フォローアップ事業参加同意書へ記入をお願いします。

委託医療機関の肝炎ウイルス検査に関する同意書は、検査申し込み時の「肝炎ウイルス検査問診票」が兼ねています。参加を希望する方は、問診票記入時に陽性者フォローアップ事業について「参加を希望します。」を選択してください。

1 肝炎治療医療費助成制度について

■概要

この事業は、B型ウイルス性肝炎またはC型ウイルス性肝炎の抗ウイルス治療を受けられる方を対象に、医療費を助成するものです。

■対象者

大分県在住で、医療（健康）保険に加入しており、下記に該当する医療を必要とする方のうち、認定基準を満たす方。

◇B型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療と核酸アナログ製剤治療（注）インターフェロン治療のうち、少量長期投与については助成の対象となりません。

◇C型ウイルス性肝炎の根治を目的として行われるインターフェロン治療とインターフェロンフリー治療（肝がんの合併のないもの）

■助成内容

助成対象となる治療費（保険診療分）について、窓口での負担が本助成制度で定める自己負担限度月額を超えた場合に公費で助成を行います。この自己負担限度額は、患者さんの世帯の所得状況に応じて次のとおりとなっています。

世帯の市町村民税（所得割）の課税年額	自己負担限度額（月あたり）
235,000 円未満の場合	10,000 円
235,000 円以上の場合	20,000 円

■助成期間

【インターフェロン治療】＝24週（6ヶ月）または48週（1年間）

特定の条件を満たす場合は、延長や2回目の制度利用が認められます。

【核酸アナログ製剤治療】＝1年間

医師が治療継続を必要と認める場合は、更新が可能です。

【インターフェロンフリー治療】＝12週（3ヶ月）、16週（4ヶ月）または24週（6ヶ月）

原則1回のみの助成ですが、肝疾患診療連携拠点病院に常勤する日本肝臓学会肝臓専門医によって他のインターフェロンフリー治療薬を用いた再治療を行うことが適切であると判断される場合に限り、改めて助成の対象とすることができます。

■受給者証の交付申請～助成を受けるには～

本助成制度による助成を受けるには、受給者証の交付申請を行い、県の「認定協議会」の審査で認定されることが必要です。（交付は申請月の翌月20日頃になります。）

◇申請に必要な書類

- ①肝炎治療受給者証交付申請書（申請者が記入します）
 - ②医師の診断書（主治医が記入します）
 - ③患者さんの氏名が記載された健康保険証等の写し
 - ④患者さんが属する世帯全員について記載のある住民票の写し（発行：居住地の市町村）
 - ⑤世帯の全員の市町村民税課税年額を証明する書類（発行：1/1に居住していた市町村）
- ※市町村民税額合算対象除外希望者がいる場合は、別途必要な書類があります。

■インターフェロンフリー治療に係る診断書の作成医について

【初回治療】日本肝臓学会肝臓専門医または大分県肝疾患診療協力医療機関の肝疾患担当責任者（日本消化器病学会消化器専門医）

【再 治 療】①肝疾患診療連携拠点病院に常勤する日本肝臓学会肝臓専門医

②肝疾患診療連携拠点病院以外の日本肝臓学会肝臓専門医または大分県肝疾患診療協力医療機関の肝疾患担当責任者（日本消化器病学会消化器専門医）（ただし、②については①の専門医による「意見書」を添付すること）

＜肝炎治療受給者証の発行状況＞

（件数）

	年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
核酸アナログ製剤治療	B型 新規	—	—	521	154	117	140	136	110	136	85
	B型 更新	—	—	—	462	562	634	712	778	829	1008
インターフェロン治療	B 型	5	7	5	4	10	12	2	1	3	2
	C 型	598	314	380	205	207	211	211	10	0	0
インターフェロンフリー治療	C 型	—	—	—	—	—	—	332	1272	599	389
合 計		603	321	906	825	896	997	1393	2171	1567	1484

2 肝がん・重度肝硬変医療費助成制度について

■概要

この事業は、B型肝炎ウイルスまたはC型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変（非代償性肝硬変）の入院医療を受けられる方を対象に、医療費を助成するものです。

■対象者

次の5つの要件をすべて満たす方

- ①大分県の市町村に住民登録がある
- ②医療（健康）保険に加入している
- ③肝がん・重度肝硬変と診断され、指定医療機関で入院医療（実務上の取扱い別添3）を受けている
- ④年収要件（年収約370万未満）に該当する
- ⑤肝がん・重度肝硬変の治療の研究に同意していただける

■助成内容

高額療養費算定基準額を超えた月の4月目から、公費の助成対象(※)となります。この場合、患者さんの自己負担額は月10,000円です。

※助成を受けようとする月以前の12月以内に、指定医療機関において肝がん・重度肝硬変入院関係医療を受けた月数が既に3月以上あるものに限る。

■助成期間

参加者証の有効期間は、1年です。

入院が継続する場合は、更新申請を行うことができますが、更新申請をする月以前の12月以内に、指定医療機関において肝がん・重度肝硬変入院関係医療を受けた月数が既に3月以上あることが要件となります。

■参加者証の交付申請～助成を受けるには～

本助成制度による助成を受けるには、参加者証の交付申請を行い、県の「認定協議会」の審査で認定されることが必要です。（交付は申請月の翌月20日頃になります。）

◇申請に必要な書類

- ①肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証交付申請書（申請者が記入します）
- ②臨床調査個人票（主治医が記入します）及び同意書（申請者が記入します）
- ③入院記録票の写し
- ④患者さんの氏名が記載された健康保険証等の写し
- ⑤限度額適用認定証又は又は限度額適用・標準負担額減額認定証（発行のある方のみ）
- ⑥住民票の写し（発行：居住地の市町村）
※年齢、適用区分により、住民票の写しが必要となる者の範囲が異なります。
- ⑦課税・非課税証明書（発行：1/1に居住していた市町村）
- ⑧保険者からの情報提供に係る同意書

☆医療費助成に関する県ホームページ

医療費助成の制度や申請等に必要な様式は、県ホームページからご覧いただけます。
大分県ホームページのトップページから、サイト内検索!!

○肝炎



[肝炎治療に対する医療費の助成について - 大分県ホームページ](https://www.pref.oita.jp/soshiki/12210/kanentiryo.html)

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/12210/kanentiryo.html>

○肝がん・重度肝硬変



[肝がん・重度肝硬変に対する医療費の助成について - 大分県ホームページ](https://www.pref.oita.jp/soshiki/.../kanganjyudokankohen.html)

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/.../kanganjyudokankohen.html>

◆肝疾患診療協力医療機関

【概要】

「大分県では2次医療圏に肝疾患診療協力病院を設置しています。肝臓専門医あるいは消化器専門医がウイルス肝炎・肝がんの診療にたずさわっています。」

肝疾患診療協力医療機関		住 所	TEL	FAX
東部医療圏	独立行政法人国立病院機構別府 別府医療センター	〒874-0011 大分県別府市大字内竈1473番地	0977-67-1111	0977-67-5766
	国家公務員共済組合連合会 新別府病院	〒874-0833 大分県別府市 大字鶴見3898番地	0977-22-0391	0977-26-4170
	大分県厚生連 鶴見病院	〒874-8585 大分県別府市大字鶴見4333番地	0977-23-7111	0977-23-7884
中部医療圏	大分市医師会立 アルメイダ病院	〒870-1133 大分市大字宮崎1509-2	097-569-3121	097-568-0743
	独立行政法人国立病院機構 大分医療センター	〒870-0263 大分県大分市横田2-11-45	097-593-1111	097-593-3106
	大分県立病院	〒870-8511 大分県大分市大字豊饒476番地	097-546-7111	097-546-0725
	大分赤十字病院	〒870-0033 大分県大分市千代町3丁目2番37号	097-532-6181	097-533-1207
北部医療圏	宇佐高田医師会病院	〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635	0978-37-2300	0978-37-2307
	中津市立中津市民病院	〒8701-0011 大分県中津市大字下池永173番地	0979-22-2480	0979-22-2481
	宮田内科医院	〒871-0015 大分県中津市大字牛神432	0979-22-3375	0979-22-0253
豊肥医療圏	豊後大野市立豊後大野市民病院	〒879-6692 大分県豊後大野市緒方町馬場276番地	0974-42-3121	0974-42-3078
南部医療圏	独立行政法人地域医療機能推進機構 南海医療センター	〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町11番20号	0972-22-0547	0972-23-0741
西部医療圏	医療法人鶴陽会 岩尾病院	〒877-0012 大分県日田市淡窓2丁目4-29	0973-22-6161	0973-22-6258

独立行政法人国立病院機構 別府医療センター

住所: 〒874-0011 大分県別府市大字内かまど1473番地

TEL: 0977(67)1111

FAX: 0977(67)5766

URL: <http://www.beppu-iryuu.jp/>

病院紹介

病床数:500床、標榜診療科:33診療科。

医師数:112名(研修医20名)

- ・地域医療支援病院
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・地域周産期母子医療センター
- ・地域小児科センター
- ・大分DMAT(災害派遣医療チーム)



当院は大正14年に創設された亀川海軍病院を始まりとし90年以上の歴史があります。戦後は国立別府病院として大分県の中核病院の役割を果たしてきましたが、平成16年、国立病院の独立行政法人化に伴い独立行政法人国立病院機構別府医療センターと改称しました。平成20年から約7年をかけて建物・設備を一新し、現在100名を越える医師がすべての領域の疾患の診療に従事しています。さらに設備の整った広い救急センターや重症患者に対する特定集中治療室(ICU)、ハイケアユニット(HCU)を設置し、ヘリポートを利用して県北部の救急医療に貢献しています。臨床研究、教育研修も当院が果たすべき役割で、「臨床研究部」は、がんの研究を主要な課題として科学的根拠に基づいたデータの集積を行い、情報発信を行っています。また、「臨床研修病院」として20名ほどの初期研修医が日々研鑽を積んでおり、併設の「附属大分中央看護学校」では社会に貢献できる看護師の養成を行っております。

スタッフ紹介 (肝疾患担当内科医師)

鶴田 悟 (消化器内科医長:日本消化器病学会 専門医・指導医、日本肝臓学会 専門医)

川中 博文(臨床研究部長、消化器外科部長:日本肝臓学会 専門医・指導医)

川元 美緒(消化器内科医師:肝疾患専門)

他の消化器内科医師:消化管疾患: 杉田 真一(医長)・多喜 研太郎・宮原 翔仁

胆・膵疾患: 新名 雄介・中村 由佳里

肝疾患診療実績

C型肝炎治療数: 352名(2005年～)

B型肝炎治療数: 105名(2006年～)

肝がん治療数: 109名(2018年)

外来診療の紹介 (外来診療時間・医師)

月～金 受付時間 8時30分～11時00分

鶴田 悟(火・水・木) 川元 美緒(月・火・金)

国家公務員共済組合連合会 新別府病院

住所: 大分県別府市大字鶴見3898番地

TEL: 0977-22-0391

FAX: 0977-26-4170

URL: soumu@shinbeppu-hosp.jp

病院紹介:

当院は、湯量日本一の温泉観光都市のほぼ中央に位置する新型救急救命センターを併存する急性期病院です。病院全体の病床数は263床で、消化器内科・肝臓内科は50床あります。この消化器内科・肝臓内科で肝疾患の患者さんの診療を行っています。医師スタッフは6名(下記参照)で、肝炎医療コーディネーターは3名(ソーシャルワーカー1名、看護師1名、ドクターアシスタント1名)です。平成2017年度の肝疾患の入院患者さんは140名で、肝腫瘍(51%)、肝硬変/慢性肝不全(31%)、慢性肝炎(10%)、急性肝障害/急性肝不全(8%)等の疾患が中心でした。

具体的な検査/治療については、肝性脳症を中心とした肝不全の救急対応、肝腫瘍や肝臓に対するソナゾイド造影超音波検査/ラジオ波焼灼術/肝動脈塞栓術/抗がん剤治療、肝硬変の患者さんによく見られる食道胃静脈瘤の内視鏡的結紮術や硬化療法、難治性腹水に対する腹水濾過還元濃縮再静注法、B型C型ウイルス性肝疾患の抗ウイルス療法等を積極的に行っています。



スタッフ紹介

香川 浩一(肝臓内科部長、大分大学臨床教授、日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化器病学会指導医)
後藤 康彦(消化器内科部長、大分大学臨床教授、日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化器病学会指導医)
野口 地塩(消化器内科医師、大分大学臨床准教授、日本消化器病学会専門医)
仲谷 朋久(消化器内科医師、日本消化器病学会専門医)、 本田 俊一郎(消化器内科医師)
石橋 恵美子(消化器内科後期研修医)

肝疾患診療実績(2015-2017年度)

	入院患者数	男性数(%)	平均年齢	平均在院日数	紹介数(%)	救急入院数(%)	死亡退院数(%)
2015年度	180人	115人(64)	72.5才(30-93)	18.6日	51人(28.3)	23人(12.8)	7人(3.9)
2016年度	141人	96人(68)	74.4才(39-92)	16.9日	49人(34.8)	18人(12.8)	12人(8.5)
2017年度	140人	78人(56)	74.8才(27-92)	17.3日	51人(36.4)	29人(20.7)	16人(11.4)

外来診療の紹介

午前(08:30-11:00):(月)香川(肝臓外来)、後藤、本田 (火)野口、仲谷 (水)野口、本田
(木)香川、石橋 (金)香川(肝臓外来)、後藤、仲谷
午後(13:00-15:00):(月)仲谷 (火)本田 (水)後藤 (木)野口

大分県厚生連鶴見病院

住所: 〒874-8585 大分県別府市大字鶴見4333番地

TEL: 0977-23-7111

FAX: 0977-23-7884

URL: <http://www.ok-tsurumi.com>

病院紹介

厚生連鶴見病院は、病床数230床（一般:212床、緩和ケア病棟:14床、感染症病床:4床）の病院です。現在は肝臓内科も含め33の診療科目と66名の常勤医師にて日々の診療を行っております。C型肝炎に対する経口剤の治療やB型肝炎への核酸アナログの治療も積極的に行っております。肝硬変の腹水や食道静脈瘤などの多彩な症状に対しても消化器内科や腎臓内科とも協力して様々な治療に対応可能です。

また肝臓がんの治療は、肝臓内科だけでなく放射線治療科、肝臓・胆のう・膵臓外科、腫瘍内科の各科による集学的な治療に取り組んでおります。2018年には2例の肝硬変患者に生体肝移植も経験しました。



スタッフ紹介 常勤医2名で診療を行っております。

常勤医師 : 大河原 均、中嶋 宏

肝疾患診療実績 2018年1月～2018年12月までの統計

C型肝炎治療数: 経口剤の内服: 34例

肝がん治療数: 血管造影: 26例＋外科的切除: 18例＋ラジオ波焼灼療法: 7例

外来診療の紹介

肝臓内科の外来は

月曜日から金曜日の午前中（受付時間: 午前8時～11時）に診療を行っております。

大分市医師会立アルメイダ病院

住所: 〒870-1133 大分市大字宮崎1509-2

TEL: 097-569-3121

FAX: 097-568-0743

URL: <http://www.almeida-hospital.com/>

病院紹介

当院は、大分市医師会立の病院で、大分市内、大分県内のあらゆる地域の病院、診療所からの紹介患者様、救急の患者様の治療、診断にあたっている三次救急病院です。消化器内科では消化器内視鏡治療はもちろんのこと、肝胆膵疾患や経腸栄養管理の必要な方、一般内科的疾患の対応まで幅広く対応しております。肝疾患については、標準的な診断レベルを維持できるよう、心がけておりますが、診断、治療が困難な症例に大分大学病院と密に連携を取り、対応するようにしています。水曜日の午後に、大分大学消化器内科より、大分大学の肝臓専門医師による肝臓外来、行っています。



スタッフ紹介

福地聡士（消化器内科部長）
梶本展明（内視鏡センター長）
広島康久
勝田 泰志郎
森 圭依

肝臓外来 水曜日 午後
大分大学医学部 消化器内科より
所 征範

肝疾患診療実績

肝疾患の専門外来は水曜日の午後に行っています。緊急を要するようであれば、ご紹介いただければいつでも対応いたします。

外来診療の紹介

消化器内科外来 月曜 午前 梶本展明、福地聡士
水曜日 午前 福地聡士 午後 肝臓外来 所 征範
金曜日は 井上邦光 が担当
その他の時間帯でも、救急対応は随時可能です。

大分医療センター

住所: 〒870-0263 大分県大分市横田二丁目11番45号

TEL: 097-593-1111

FAX: 097-593-3106

URL: <http://nho-oita.jp/>

病院紹介

当院の独立行政法人化に向けての基本構想「肝」「がん」を共に取り扱う診療科です。

当科では長年の伝統もあって、毎日の外来患者約100名の8割は肝疾患の患者で、毎日3名の医師が外来診療に当たっています。C型肝炎やB型肝炎に対する抗ウイルス療法、肝細胞癌に対しては経皮的ラジオ波凝固療法(RFA)、肝動脈塞栓術、持続動注療法等を行っています。

外科と放射線科との連携により、毎週の合同カンファレンスの下、1例1例を十分に検討して最良の治療にと役立てています。

尚毎月第2月曜日14時から肝臓病教室を薬剤師・栄養士とともに開催しています。

基本理念

「愛の心・手」で病める人々に寄りそう医療

人の尊厳・権利を尊重し

「愛の心・手」で最良の医療サービスを提供します

独立行政法人国立病院機構 大分医療センター



スタッフ紹介

室豊吉（名誉院長 肝臓専門医、消化器病学会専門医、内視鏡学会専門医・指導医）

山下勉（部長 肝臓専門医・暫定指導医、消化器病学会専門医、内視鏡学会専門医）

豊田亮（医長 消化器病学会専門医、内視鏡学会専門医）

大塚雄一郎（医長 肝臓専門医・暫定指導医、消化器病学会専門医、内視鏡学会専門医・指導医）

肝疾患診療実績

C型肝炎治療数: インターフェロンフリー治療 約200人

B型肝炎治療数: 抗ウイルス薬の内服治療 約100人

肝がん治療数: 腹部血管造影 約130人/年、経皮的ラジオ波焼灼療法 約40人/年

外来診療の紹介

月曜日から金曜日まで、肝臓専門医が1～2名で肝疾患の診療を行っています。

大分県立病院

住所: 〒870-8511 大分市豊饒476

TEL: 097-546-7111

FAX: 097-546-0725

URL: <http://hospital.pref.oita.jp/>

病院紹介

当院には4名の肝臓専門医(内科2名、外科2名)が在籍し、消化器専門医や若手医師、研修医とともに診療を行っています。慢性肝炎を初め肝硬変、肝癌など多くの肝臓病の患者さんが通院、入院しており、豊富な治療経験が蓄積されています。近年肝臓病の患者さんは高齢化傾向にあり、多くの合併症を持っていることがあります。総合病院である当院ではさまざまな科の専門家と協力し対応することができます。また肝がんの治療においては内科、外科、放射線科の医師が協力することが大切です。各科と定期的なカンファレンスを行いまた最新の医療機器を使用して個々人が最適な治療を受けられる態勢をとっています。



スタッフ紹介

消化器内科部長: 加藤有史(肝臓専門医)

副部長: 高木崇(肝臓専門医)

副部長: 小野英樹(消化器専門医)

藤富真吾、田中久也、松尾論

肝疾患診療実績

C型肝炎治療数: 40例

B型肝炎治療数: 85例

肝がん治療数: 98例

外来診療の紹介

外来診療時間・医師等: 新患 月曜～金曜 午前8時30分～午前11時まで受付。曜日毎に担当医は異なります。

再来: 月曜～金曜 予約制 超音波検査: 月曜～金曜 午前

大分赤十字病院

住所: 〒870-0033 大分市千代町3丁目2-37

TEL: 097-532-6181

FAX: 097-533-1207

URL: <http://www.oitasekijyuji.jp/>

病院紹介

肝胆膵内科は消化器内科・外科・放射線科と連携して診療しています。ウイルス性肝疾患のみならず、急性肝炎や生活習慣病に伴う肝障害にも対応しています。特に肝硬変や肝臓に進展する可能性がある非アルコール性脂肪肝炎は、背景に糖尿病等のメタボリックシンドロームを合併していることが多く、内分泌・糖尿病内科と連携して治療にあたっています。

また、腹部超音波検査による肝硬変の測定を行い、肝臓の進展度を把握しています。肝細胞癌に関しては、外科・放射線科との合同カンファレンスで協議し、特定の治療にこだわることなく、個々の患者さんにとって最適な治療を提案しています。切除不能肝細胞癌に対しては、2018年3月より保険収載されたレンバチニブ内服治療も積極的に行っております。



スタッフ紹介

成田竜一、本村充輝、米田敏晃

肝疾患診療実績

肝細胞癌に対する動注塞栓療法 38件 肝細胞癌に対する持続動注療法 3件
肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼療法 2件 肝細胞癌に対する内服の化学療法 10件
胆管細胞癌に対する化学療法 2件 肝針生検 16件
インターフェロンフリー治療 6件

外来診療の紹介

外来診療時間: 月・水・金曜日 午前中

宇佐高田医師会病院

住所：〒872-0102 宇佐市南宇佐635

TEL： 0978-37-2300

FAX： 0978-37-2307

URL： www.utihp.jp

病院紹介

宇佐高田医師会病院は、大分県宇佐市にあります。

宇佐市医師会と豊後高田市医師会により、

昭和57年に設立されました。

平成23年に地域医療支援病院に指定され、宇佐市・豊後高田市の医療を支えるべき地医療拠点病院として日々の患者様の診療にあたっております。紹介型病院であり、原則として紹介状をお持ちの患者様を対象とした診療を行っておりますが、急患に関しては随時対応をさせていただきます。常勤医の人数は決して多くありませんが、循環器・呼吸器・消化器内科・消化器外科の常勤医が在籍し、大分大学や鶴見病院、西別府病院から非常勤医師の診療支援をいただいております。

指定病院など

(財)日本医療医機能評価機構認定(3rdG:ver.1.0)

2次救急指定医療機関

災害拠点病院

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設

日本消化器病学会関連認定施設

肝疾患診療協力医療機関 など



スタッフ紹介

消化器内科：石田健朗

岡嶋智也

中島仁典

外来看護課長：水江明美

地域連携室：吉田茂樹

臨床検査技師：磯村信一

(腹部エコー) 今永一彦

江熊希美

診療支援室：小野佳子

西園輝美 他

肝疾患診療実績

C型肝炎治療数： 肝炎治療受給者証申請者件数 6件

B型肝炎治療数： 肝炎治療受給者証申請者件数 4件

肝がん治療数： 肝がん治療に関しては診断後に連携医療機関へ紹介となります

外来診療の紹介

消化器科

外来診療時間・医師等：月曜日～金曜日

受付時間8:30～11:00

部長 石田 健朗

医員 岡嶋 智也

非常勤医師 中島 仁美

月曜・金曜

水曜

火曜・木曜

中津市立 中津市民病院

住所: 〒871-0011 中津市下池永173番地
TEL: 0979-22-2480
FAX: 0979-22-2481
URL: <http://www.city-nakatsu.jp/hospital/>

病院紹介

大分県北部の基幹病院として一部は福岡県からの患者さんも受け持っています。

B型肝炎に対する核酸アナログ治療、インターフェロン治療、
C型肝炎に対するインターフェロン治療、経口抗ウイルス剤の治療に対応しています。
肝硬変患者の食道・胃静脈瘤に対してはEVLやEISの他BRTOも行っています。
肝細胞がんに対する治療も外科、消化器内科、放射線科が協力し
ラジオ波焼灼療法、肝動脈塞栓療法、リザーバー留置下肝動注化学療法、
外科手術、放射線療法、分子標的薬による治療まで、患者さんの状況に合わせ様々な
治療手段に対応可能です。



スタッフ紹介

- ・横田昌樹(消化器内科) 消化器病学会専門医・指導医、
肝臓学会専門医・指導医、がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定指導医
- ・日高 啓(放射線科) 放射線学会専門医、インターベンション学会IVR指導医、
消化器病学会専門医、がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・永田茂行(外科) 外科学会専門医・指導医、消化器外科学会専門医、消化器外
科学会消化器がん外科治療認定医、肝臓学会専門医、がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・大森 薫(消化器内科) 消化器病学会専門医・指導医、
肝臓学会専門医、門脈圧亢進症学会技術認定取得医
- ・梅野成大(消化器内科) 肝臓学会専門医

肝疾患診療実績 H30年1月～12月

C型肝炎治療数: 経口抗ウイルス薬35例

B型肝炎治療数: 核酸アナログ62例

肝がん治療数: ラジオ波焼灼51例、エタノール注入17例、肝動脈塞栓術 105例、リザーバー動注3例
外科手術 11例(原発性肝がん)

外来診療の紹介

外来受付時間	月～金 8:30-11:00	消化器内科	横田 (月、金)、大森 (月、火)、梅野 (水、木)
		放射線科	日高 (月～金)
		外科	永田 (火、木)

医療法人 宮田内科医院

住所: 〒871-0015 大分県中津市牛神432番地
TEL: 0979-22-3375
FAX: 0979-22-0253

病院紹介

JR中津駅より徒歩15分、中津中学校の向いにある無床診療所です。
消化器疾患(特に肝疾患)を中心に診療を行っています。

スタッフ紹介

院長 荻原健(日本消化器病学会認定消化器病専門医)、事務スタッフ3名、
看護師5名(うち2名は肝炎コーディネーター)

肝疾患診療実績

C型肝炎治療数: インターフェロン治療約130例、インターフェロンフリー治療約80例。
B型肝炎治療数: インターフェロン治療約10例、核酸アナログ治療約40例。
(いずれも2018年末まで)
肝がん治療数: 早期発見につとめ、中津市民病院等と連携して診療しています。

外来診療の紹介

外来診療時間: 月～金8:30～12:30、14:00～17:30、土8:30～12:30
日曜祭日、年末年始、盆休診

豊後大野市民病院

住所: 〒879-6692 大分県豊後大野市緒方町馬場276番地

TEL: 0974-42-3121 (代表)

FAX: 0974-42-3078

URL: www.bungo-ohno-hp.jp

病院紹介

H25年11月までは消化器内科常勤医1名、同年12月からは常勤医2名で診療を行っています。

肝疾患については、慢性C型肝炎に対する経口抗ウイルス剤(DAAs: direct antiviral agents)、慢性B型肝炎に対する核酸アナログの導入や、必要に応じて肝生検による精査を行っています。肝細胞癌に対しては、肝切除術や経動脈腫瘍塞栓術を施行しています。

また、総胆管結石・急性胆管炎に対する内視鏡的胆道ドレナージ、急性胆嚢炎に対する経皮的胆嚢ドレナージ、吐下血に対する内視鏡的止血術、早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術も行っています。

地域の特性上、高齢者が多く、複数の合併症を有していることから、可能な限り低侵襲な治療法を心掛けています。

現在、消化器外科医も含め、日本消化器内視鏡学会専門医3名(指導医2名)、日本消化器病学会専門医2名(指導医1名)、日本肝臓学会専門医1名が常勤しており、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会認定施設となっています。

スタッフ紹介

消化器内科部長: 棚橋 仁

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、医学博士

消化器内科医師: 得丸 智子 日本消化器病学会専門医

肝疾患診療実績

C型肝炎治療数: 40名

B型肝炎治療数: 10名

肝がん治療数: 6名(肝切除術3名, TACE・TAI3名)

外来診療の紹介

外来診療時間・医師等

棚橋 仁 (火・金曜日: 午前8:30～11:00)

得丸 智子 (月・木曜日: 午前8:30～11:00)

独立行政法人地域医療推進機構 南海医療センター

住所: 〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町11-20

TEL: 0972-22-0547

FAX: 0972-23-4083

URL: <http://nankai.jcho.go.jp/>

病院紹介

当院は、昭和22年10月佐伯の地に創立され、以来総合病院として大分県南の中核医療を担っております。公的活動としては、へき地医療拠点病院、第2次救急指定病院、第2種感染症指定病院、地域災害拠点病院、大規模自然災害や人災事故に対するための機能を備えた大分DMAT指定病院、大学卒業後の医師教育のための協力型臨床研修病院(大分大学)等の施設基準を有しています。

また平成26年4月1日から当院は、「独立行政法人地域医療機能推進機構(英語表記の略称はJCHO:ジェイコー)」に管理運営されることになり、「健康保険南海病院」から「南海医療センター」に変更いたしました。

新たに肝疾患診療協力医療機関にも認定され、今後も地域医療に貢献すべく、患者様一人一人へ最善の医療を行っていきたいと思いますので皆様のご協力を宜しく願います。



スタッフ紹介

常勤医師: 和田 蔵人 (日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医)

本田 秀穂 (日本消化器病学会会員)

非常勤医師: 寺尾 英夫 (日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医)

肝疾患診療実績

C型肝炎患者数: 平成29年度 約130名

B型肝炎患者数: 平成29年度 約160名

肝がん治療数: 平成29年度 約40名

平成30年度(2月末時点) 約130名

平成30年度(2月末時点) 約150名

平成30年度(2月末時点) 約40名

肝疾患外来診療の紹介

火曜日(午後): 寺尾

水曜日(午前): 和田

木曜日(午前): 和田 本田

金曜日(午前): 本田

医療法人鶴陽会 岩尾病院

住所: 〒877-0012 大分県日田市淡窓2-4-29

TEL: 0973-22-6161

FAX: 0973-22-6258

URL: <http://iwao-hospital.jp>

病院紹介 当病院は古風な街並みで定評のある豆田町から南に500メートルに立地しています。1933年に岩尾忠治が岩尾内科医院を開設し、1971年に岩尾病院となりました。診療分野は内科全般、特に糖尿病と消化器疾患に重点を置いています。常勤医の理事長:岩尾 忠、院長:境 研二、副院長:安東栄治は、消化器病および肝臓専門医の資格を有しています。患者さんは日田市在住の方が大半ですが、玖珠郡、朝倉郡、小国町、うきは市の方も受診いただいています。福岡県に隣接しているため、多数のC型肝炎の患者さんが来院されます。現在、直接作用型抗ウイルス薬による治療を広く行っています。慢性肝疾患では肝発癌が重要であり、久留米大学病院、大分大学病院、済生会日田病院、久留米中央病院などと医療連携を行い診療しています。「地域のために開かれた医療」を基本理念として掲げています。全人的な医療を提供し、地域社会に貢献したいと考えています。



スタッフ紹介

看護師長:村野理恵子。副看護師長:松尾智美、平島千奈。病棟主任:野上啓介。

疾患診療実績

C型肝炎治療数:インターフェロン治療総数:約1400例、
インターフェロンフリー療法(経口抗ウイルス薬):約120例(2016年10月31日)
B型肝炎治療数:約30例、肝がん治療数:専門施設に紹介しています。

外来診療の紹介

外来診療時間・医師等:8:30～17:30、土曜日は8:30～12:30。
火曜日の15:30～、木曜日の14:00～、金曜日の16:00は非常勤医の外来です。
それ以外は常勤医が外来を行っています。

◆市民公開講座

大分県では肝がん撲滅を目指して、「大分方式」ということで、大分県各地で肝臓学会主催の市民公開講座を行なっています。肝臓週間や日本肝炎デーにあわせて、平成15年から開催しており、現在まで約10000人の大分県民が参加しています。市民公開講座の際に、アンケートを参加者をお願いしております。その結果もあわせ掲載していますので、ご参照ください。

市民公開講座 参加人数 平成15年～平成30年

	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
開催 責任者	清家 正隆	寺尾 英夫	加藤 有史	香川 浩一	森 哲	大河原 均	一木 康則 寺尾 英夫	酒井 浩徳	横田 昌樹	成田 竜一	本田 浩一	西村 大介	鶴田 悟	山下 勉	織部 淳哉	遠藤 美月
中津	69	118	61	92	76	91	145	150	81	45	84	65	75	45	54	68
大分	132	151	143	116	320	485	241	230	103	237	402	487	457	589	416	288
宇佐	76	26	73		190				75					23		
別府	48	97	59	93	110	120	120	56	52	35	49	95	98	34	46	48
竹田	77	113	91	63	58	63	68			42			55	53		
豊後 大野	71	53	72		61			32				76			42	38
国東	73	21	40					41								
由布市	169	34	29		88		48					57				
臼杵	63				105	30			57					36		35
佐伯	38		21	23	74	50		35		39	37		33			
安心院				52	41				52							
日田			93	156		78		101	91	72	134					
玖珠			52		78			51							20	
豊後高 田							85									
竹田					48											
総数	816	613	734	595	1249	917	707	696	511	470	706	780	718	780	578	477

◆市民公開講座の様子



2018.8.4 ホルトホール大分



2018.6.23 リル・ドリーム(中津)

2019年日本肝臓学会市民公開講座 開催内容

大分市
日時:6月15日(土)
場所:総合文化センター
iichiko「音の泉ホール」

中津市
日時:6月23日(土)
場所:リル・ドリーム

別府市
日時:7月6日(土)
場所:トキハ別府店 7階
「レセプションルーム」

なぜ肥満にきちんと向き合えないのか～ 「肥満放置病」のメカニズムを考える～
肝臓を守るために～食習慣を見直しませんか？～
肝臓と共に！笑って！元気に！
あなたは大丈夫？非ウイルス性肝疾患
肝炎ウイルス陽性者はどこにいるの？ ～肝炎撲滅に知って欲しいこと～

糖尿病とサルコペニア
糖尿病と肝臓病
全例治癒を目指したC型肝炎治療

肝硬変のお話
肝がんのお話
脂肪肝のお話

2019年はホルトホールではなく
iichiko「音の泉ホール」です!!

◆地域肝炎治療コーディネーターから肝炎医療コーディネーターへ

肝炎医療コーディネーターは、患者さんとかかりつけ医、患者さんと肝臓専門医、かかりつけ医と肝臓専門医の架け橋になるような役目を担っています。

＜肝炎医療コーディネーターの役割＞

●検査未受検者に対する肝炎ウイルス検査の受検勧奨

検査の必要性や検査方法の説明をするなど、検査未受検者に対し肝炎ウイルスの検査の受検を勧める

●陽性者に対する保健指導の実施

肝炎ウイルス検査結果の説明、陽性者に対する医療機関への受診勧奨、肝炎に関する各種制度（治療費助成制度、陽性者フォローアップ事業等）の説明

●肝炎患者等からの相談

肝炎患者さんや家族などからの相談に応じる

●正しい知識等の情報提供、普及啓発

個別面談や肝炎教室等を通し、肝炎に関する検査、治療方法、生活、食事、服薬、治療費助成制度などについてアドバイスをする

＜肝炎医療コーディネーター養成講座＞

平成23年度から養成講座を4回開催し、合計321名のコーディネーターが誕生しました。

第1回 地域肝炎治療コーディネーター養成講座	第3回 地域肝炎治療コーディネーター養成講座
日時 平成23年10月18日～12月4日	日時 平成30年1月14日
受講者 177名	受講者 52名
第2回 地域肝炎治療コーディネーター養成講座	第4回 地域肝炎治療コーディネーター養成講座
日時 平成26年6月14日	日時 平成30年5月27日
受講者 48名	受講者 44名

＜活動継続の意思確認＞

平成27年10月、セミナーへの参加が無いコーディネーターの方へ、活動継続の意思確認を行いました。その結果、128名のコーディネーターの方が活動継続を希望され、平成28年度は、119名のコーディネーターの方が活動していました。平成30年度に地域肝炎治療コーディネーターから肝炎医療コーディネーターへ名称が変わり、移行した方が53名となり、現在149名の肝炎医療コーディネーターが活動中です。

*コーディネーターの所属機関

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
医療機関	105	33	30	27	195
行政	47	13	6	5	71
その他	25	2	16	12	55



(現在)平成30年12月	
医療機関	93
行政	16
その他	40

*コーディネーターの職種

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
看護師	87	24	24	17	152
保健師	66	15	14	16	111
MSW	15	4	4	2	25
医師	1	0	3	2	6
その他	8	5	7	7	27



(現在)平成30年12月	
看護師	77
保健師	39
MSW	9
医師	5
その他	19

その他：検査技師、診療情報管理士、ドクターアシスタント、事務、元患者など

■肝炎医療コーディネーター所属施設

2019年1月現在

宇佐市	1	宇佐高田医師会病院	大分市	37	医療法人仁友会 森内科医院
	2	佐藤第一病院		38	大分市保健所健康課 東部保健福祉センター
	3	宇佐高田地域成人病検診センター		39	大分労働衛生管理センター
	4	宇佐市役所		40	日本通運(株) 大分支店
	5	グループホームよろうち		41	大分キャノン(株)
臼杵市	6	浜田消化器科内科医院	杵築市	42	新日鐵住金(株)
	7	帰巖会 臼杵病院		43	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
	8	臼杵市医師会立コスモス病院		44	NPO法人「共に生きる」
	9	臼杵市役所		45	杵築中央病院
大分市	10	医療法人社団親和会えとう内科病院	玖珠町	46	(株)ジェイデバイス
	11	大分市医師会立アルメイダ病院		47	杵築市役所
	12	大分医療センター	国東市	48	玖珠記念病院
	13	大分健生病院		49	東部保健所国東保健部
	14	大分記念病院		50	塩月内科小児科医院
	15	大分県地域成人病検診センター	佐伯市	51	杉谷診療所
	16	大分県立病院		52	南海医療センター
	17	大分三愛メディカルセンター	中津市	53	中津市民病院
	18	大分循環器病院		54	医療法人 宮田内科医院
	19	大分赤十字病院	日田市	55	大河原病院
	20	大久保内科外科(内視鏡)クリニック		56	医療法人鶴陽会 岩尾病院
	21	社団医療法人 敬和会 大分豊寿苑訪問看護ステーション	豊後大野市	57	帰巖会 みえ病院
	22	内科阿部医院		58	三重東クリニック
	23	三好内科循環器科医院	竹田市	59	豊後大野市民病院
	24	社会医療法人恵愛会 大分中村病院		60	竹田市役所
	25	垣迫胃腸クリニック	豊後高田市	61	高田中央病院
	26	梶本医院		62	豊後高田市ウェルネス推進課
	27	谷川医院	九重町	63	北部保健所豊後高田保健部
	28	医療法人社団三杏会 仁医会病院		64	九重町役場保健福祉センター
	29	塚川第一病院	別府市	65	大分県厚生連健康管理センター
	30	大分県地域保健支援センター		66	清瀬病院
	31	大分共立病院		67	新別府病院
	32	大分市保健所		68	鶴見病院
	33	佐賀関診療所		69	別府医療センター
	34	医療法人 高城こうのクリニック	由布市	70	宮崎医院
	35	旭化成株式会社大分工場 健康管理課		71	大分大学医学部附属病院
	36	全国健康保険協会 大分支部			

■肝炎医療コーディネーター研修会

コーディネーターと医療従事者を対象に、肝炎治療の最新情報のお届けとコーディネーターのスキルアップを目的として開催しています。

<開催日程>

	テーマ	講演	演者	会場	参加者
第1回	安心して最新の治療を受けるために	熊本県における肝炎・肝がん地域連携の現状と課題	島根大学医学部附属病院 佐藤秀一先生 国立病院機構熊本医療センター 西山慎吾先生 消化器内科 医長 杉和洋先生	大分医師会館 平成24年3月29日(木)	72
第2回	安心して最新の治療を受けるために	当院における肝炎診療の現状 -地域連携の観点から-	大分大学医学部附属病院 本田浩一、藤田幸子先生 九州厚生年金病院 肝・胆・膵・消化管内科 一木康則先生	大分医師会館 平成25年3月14日(木)	69
第3回	安心して最新の治療を受けるために	C型肝炎治療の新展開	大分大学医学部附属病院 本田浩一先生 医療法人創起会くまもと森都総合病院 肝臓・消化器内科 部長 宮瀬志保先生	ホルトホール大分 平成25年10月22日(火)	55
第4回	肝炎治療コーディネーターの今、これから	佐賀県における肝炎診療の現状	佐賀大学医学部附属病院 佐賀県統括肝炎コーディネーター 泉夏美先生 肝炎患医療支援学 講師 河口康典先生	ホルトホール大分 平成26年3月4日(火)	42
第5回	肝炎治療コーディネーターのこれから	ALL佐賀で取り組む肝炎コーディネーターの活動	大分大学医学部附属病院 本田浩一先生 佐賀大学医学部附属病院 佐賀県統括肝炎コーディネーター 泉夏美先生	ホルトホール大分 平成26年10月9日(木)	51
第6回	現場からの声受検・受診・受療それぞれの問題点	クリニックにおける肝炎診療の関わり方	大分大学医学部附属病院 本田浩一先生 内科阿部医院 肝炎医療コーディネーター 戸次菊枝先生 大口市子先生	ホルトホール大分 平成27年1月22日(木)	54
第7回	現場からの声受検・受診・受療それぞれの問題点	C型肝炎の最新情報事例報告 行政における受検の取り組み 院内における肝炎スクリーニング検査の現状	大分大学医学部附属病院 本田浩一先生 臼杵市役所 肝炎医療コーディネーター 石田幸江先生 新別府病院 肝炎医療コーディネーター 藤本絢子先生	ホルトホール大分 平成27年3月19日(木)	59
第8回	現場からの声受検・受診・受療それぞれの問題点	C型肝炎の最新情報 事例報告 大分市の肝炎ウイルス検診の現状と課題 厚生連健康管理センターにおける取り組み	大分大学医学部附属病院 本田浩一先生 大分市保健所保健予防課 白石清美先生 大分県厚生連鶴見病院 大河原均先生	ホルトホール大分 平成27年6月25日(木)	51
第9回	進歩を遂げた肝炎治療を届けるために	C型肝炎及びB型肝炎の最新情報 肝炎治療に関する医療費助成について	大分大学医学部附属病院 本田浩一先生 大分県福祉保健部健康対策課 首藤美徳先生	ホルトホール大分 平成27年9月17日(木)	55
第10回	進歩を遂げた肝炎治療を届けるために	肝炎治療の最新情報 手遅れ肝がんを防ぐために	大分大学医学部附属病院 織部淳哉先生 大分大学医学部附属病院 本田浩一先生	ホルトホール大分 平成28年1月21日(木)	61
第11回	進歩を遂げた肝炎治療を届けるために	肝炎治療の最新情報 今こそ、たけ！肝炎ウイルスと肝炎シールの普及に向けて	大分医療センター 山下勉先生 大分大学医学部附属病院 本田浩一先生	ホルトホール大分 平成28年5月12日(木)	49
第12回	進歩を遂げた肝炎治療を届けるために	C型肝炎治療におけるフォローアップの向上を目指して 沖縄県の肝疾患の疫学的特徴	琉球大学医学部附属病院 前城達次先生	ホルトホール大分 平成28年9月8日(木)	42
第13回	肝炎患者の掘り起しのための工夫	当院でのC型肝炎感染者の状況 肝炎治療コーディネーターから肝炎医療コーディネーターへ	新別府病院 香川浩一先生 大分県健康づくり支援課 秋月敬子先生	ホルトホール大分 平成29年1月26日(木)	32
第14回	肝炎医療コーディネーターの役割と肝炎患者掘り起しのための工夫	肝炎医療コーディネーターの役割-医療ソーシャルワーカーが担う意義- 豊肥地域におけるC型慢性肝炎診療	新別府病院 工藤徳昭先生 豊後大野市民病院 棚橋仁先生	ホルトホール大分 平成29年6月22日(木)	31
第15回	肝炎医療コーディネーターの役割と肝炎患者掘り起しのための工夫	平成29年度市民公開講座活動報告	大分大学医学部附属病院 織部淳哉先生	ホルトホール大分 平成29年9月21日(木)	24
第16回	肝炎医療コーディネーターの役割と肝炎患者掘り起しのための工夫	C型肝炎患者スクリーニング～別府医療センターにおける取り組み	別府医療センター 酒井浩徳先生	ホルトホール大分 平成30年1月25日(木)	34
第17回	肝炎医療コーディネーターの役割と肝炎患者掘り起しのための工夫	大分大学医学部附属病院における取り組み 肝疾患相談支援センター関係者向け研修会の報告	大分大学医学部附属病院 藤田幸子、江月優子先生	ホルトホール大分 平成30年4月27日(金)	29
第18回	肝炎医療コーディネーターの役割と肝炎患者掘り起しのための工夫	当センターにおける世界肝炎デーの取り組み	大分県地域成人病検診センター 安部祐子先生	ホルトホール大分 平成30年7月5日(木)	41
第19回	肝炎医療コーディネーターの取り組みの実際	肝がん・重度肝硬変医療費助成について 協会けんぽ福岡支部の肝炎対策事業-肝炎ウイルス検査促進とフォローアップ体制の構築-	大分県健康づくり支援課 高木道代先生 全国健康保険協会福岡支部 大江千恵子先生	ホルトホール大分 平成30年10月23日(火)	21
第20回	肝炎医療コーディネーターの取り組みの実際	肝炎コーディネーターの活動の現状と課題	沖縄県北部地区医師会病院 漢那香織先生	ホルトホール大分 平成31年1月31日(木)	28

◆大分肝炎ネットワークin植田からin大分へ

かかりつけ医の先生方とともに最前線で患者さんを診療されている先生方と一緒に勉強会をしています。最新情報と講師はそれぞれの地区で肝炎診療で活躍している先生方に講演をお願いしています。

	日時	演題名	講演者	場所
第1回	平成22年9月14日(火)	「病診連携パスを用いたIFN外来導入の実際」	大分大学医学部附属病院 清家正隆 先生	植田市民行政センター
第2回	平成23年1月18日(火)	「C型肝炎の最近の治療」 「沖縄県におけるB型肝炎の現状」	大分大学医学部附属病院 本田浩一 先生 琉球大学医学部附属病院 前城達次 先生	植田市民行政センター
第3回	平成23年7月21日(木)	「大分大学の外来導入の現状」 「宮崎県における肝炎診療連携の現状」	大分大学医学部附属病院 遠藤美月 先生 宮崎大学医学部附属病院 永田賢治 先生	植田市民行政センター
第4回	平成24年1月17日(火)	「病診連携パスの有用性と課題」 「これからの肝疾患の病診連携～肝炎から肝癌まで」	岩波内科クリニック 岩波栄逸 先生 広島大学病院 北本幹也 先生	植田市民行政センター
第5回	平成24年7月24日(火)	「大分大学のC型肝炎に対するIFNの最近の治療動向」 「B型肝炎の最近の話題と青森県の肝疾患診療体制の現状」	大分大学医学部附属病院 織部淳哉 先生 弘前大学医学部附属病院 遠藤哲 先生	植田市民行政センター
第6回	平成25年1月31日(木)	「C型肝炎における地域医療連携」 「B型肝炎の診断と治療」	佐藤医院 佐藤慎二郎 先生 久留米大学病院 宮島一郎 先生	植田市民行政センター
第7回	平成25年7月19日(金)	「当院におけるインターフェロン治療の工夫」 「インターフェロン治療はC型肝炎患者の生命予後を改善させる～上五島でのコホート研究」	大分大学医学部附属病院 織部淳哉 先生 長崎医療センター 山崎一美 先生	植田市民行政センター
第8回	平成26年4月18日(金)	「当院でのC型慢性肝炎に対する3剤併用療法について」 「北海道肝炎医療の実態と旭川大の取り組み」	大分医療センター 山下勉先生 旭川医科大学病院 大竹 孝明 先生	植田市民行政センター 植田公民館
第9回	平成26年10月28日(火)	「C型肝炎におけるソプリアード3剤併用療法の治療成績」 「B型肝炎の最近の話題」	大分大学医学部附属病院 本田浩一 先生 呉医療センター・中国がんセンター 高野 弘嗣 先生	植田市民行政センター
第10回	平成27年4月21日(火)	「B型肝炎におけるインターフェロン治療の現状」 「高齢県における肝臓診療について～医療連携を含めて」	大分大学医学部附属病院 清家正隆 先生 松江赤十字病院 内田靖 先生	植田市民行政センター
第11回	平成27年11月19日(木)	「ソホスビル+リバビリン併用療法の使用経験」 「B型肝炎～最近の話題」	鶴見病院 大河原均 先生 長崎医療センター 長岡進矢 先生	植田市民行政センター
第12回	平成28年5月31日(火)	「当院でのDAAs治療の現状」 「C型慢性肝炎のウイルス排除とその効果」	大分赤十字病院 成田竜一 先生 くまもと森都総合病院 宮瀬志保 先生	植田市民行政センター
第13回	平成28年10月25日(火)	「当院で2年間に測定したHCV抗体検査11252検体の検討」 「肝臓病の最近の話題」	新別府病院 香川浩一 先生 大分大学医学部附属病院 清家正隆 先生	植田市民行政センター
第14回	平成29年3月23日(木)	「当科におけるレミッチ投与症例の検討」 「肝疾患診療の最新の知見」	大分大学医学部附属病院 織部淳哉 先生 熊本大学 田中基彦 先生	ホルトホール大分
第15回	平成29年9月28日(木)	「豊肥地域におけるC型慢性肝炎の現状」 「肝疾患の残された課題」	豊後大野市民病院 棚橋仁 先生 香川県立中央病院 高口浩一 先生	ホルトホール大分
第16回	平成30年2月15日(木)	「当院における肝炎患者の掘り起しの取り組み」 「肝疾患診療と地域連携」	鶴見病院 大河原均 先生 山梨大学医学部附属病院 坂本穰 先生	ホルトホール大分
第17回	平成30年10月11日(木)	「当院におけるHCV抗体陽性者の追跡調査」 「肝臓病の最近のトピックス～肝硬変のマネージメント～」	中津市立中津市民病院 横田昌樹 先生 三重大学医学部附属病院 長谷川浩司 先生	ホルトホール大分

◆肝臓病教室から新肝臓教室へ

大分大学附属病院内では、2017年度まで病棟で開催しており、2018年度より
新肝臓教室と改名し、**外来の面談室にて毎月第1金曜日に開催**しております。(変動あり)
 出張肝臓病教室のご依頼などがあれば、可能な限り行きたいと思いますので、
 肝疾患相談センターまでご連絡をお願いいたします。

これまでの肝臓病教室

2010年 12回(第1回～第12回)

2011年 7回(第13回～第19回)

2012年 10回(第20回～第29回)

2013年 4回(第30回～第33回)

2014年 1回(第34回)

2015年 1回(第35回)

2016年 2回(第36回～第37回)

2017年 3回(第38回～第40回)



2018年より新肝臓教室 開催

第41回 「脂肪肝について」	所征範先生	平成30年10月12日(金)
第42回 「食事について」	廣田優子先生	平成30年11月2日(金)
第43回 「肝臓病とサルコペニア」	本田浩一先生	平成30年12月7日(金)
第44回 「メタボと飲酒」	清家正隆先生	平成31年1月11日(金)
第45回 「高血糖と肝臓の関係」	大末美代子先生	平成31年2月1日(金)
第46回 「日常生活の注意点」	藤田幸子先生	平成31年3月8日(金)

◆世界肝炎デーイベント開催

2018年より、7月の肝臓週間に併せて、【**食事に気をつけて、肝臓をいたわりましょう！**】をテーマに
 外来にて、フードモデルを展示し、栄養(食事)について、学んでもらうイベントを実施しました。



栄養相談室の前の展示での感想

- ・肝臓病と言われてアルコールが関係あると思っていたけど、食事も大事なんだね。
- ・循環器でかかっています。今日の採血で肝機能が悪くなっていると聞きました。脂肪肝かもと言われました。
- ・カレーの塩分量を教えてください。
- ・こんなに塩分が含まれているんですね。
- ・1年前に胃の手術をしました。体重は落ちました。近頃HbA1Cが上がってきたので、食事に気を付けないといけないと思って、参考にしたいと思います。
- ・塩分を取りすぎると肝臓に悪いんですか。
- ・生活習慣は、なかなか難しいですね。でも、こうやって見てみるとイメージができるので、いいです。
- ・こうやって見せてもらおうとわかるけど、欲が先に出ちゃうんだよね。
- ・数字を見せられるより、こうやって目に見えるといいね。
- ・分かっているようでわかっていなかった。
- ・いい勉強になりました。

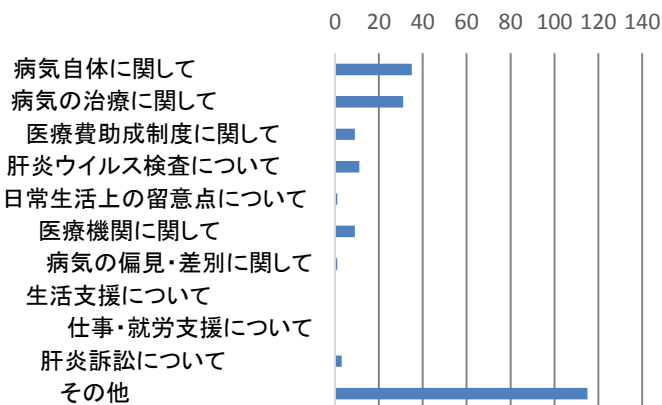
2019年も引き続き開催します。
 内容は随時、HPにてUPしていきます。

◆相談件数

肝疾患相談センターへ患者様やご家族、医療関係者の方より、ご相談をいただきました。平成30年12月現在は、寄せられた相談は111件となりました。相談内容は以下のとおりとなっております。例年、肝炎治療や無料検査のお問合せが多く、今後も肝炎検査や治療推進の情報を発信していけたらと思います。また、ご相談等がありましたら、肝疾患相談センターの肝臓専門医や相談員へお気軽にご相談ください。

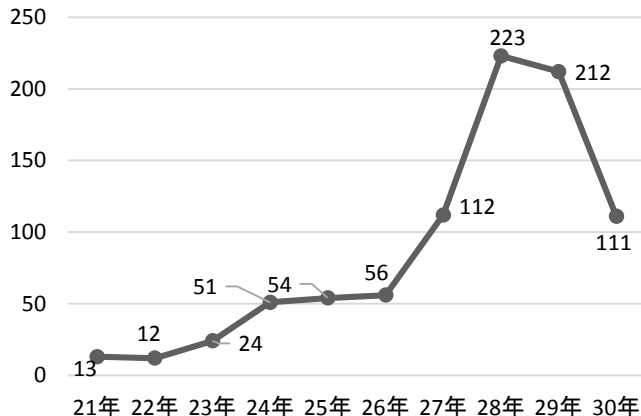
1.相談内訳

平成29年度の相談内訳(複数回答)

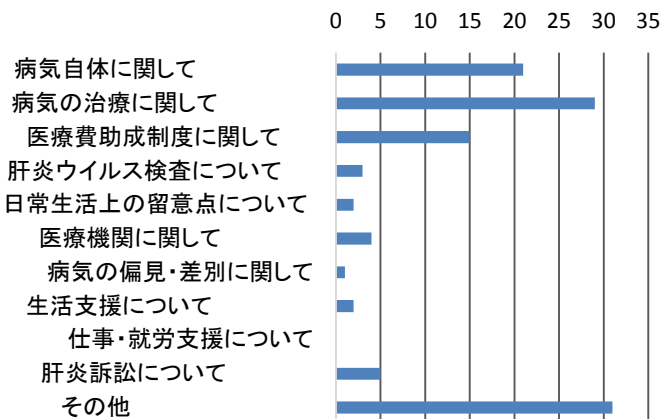


2.件数

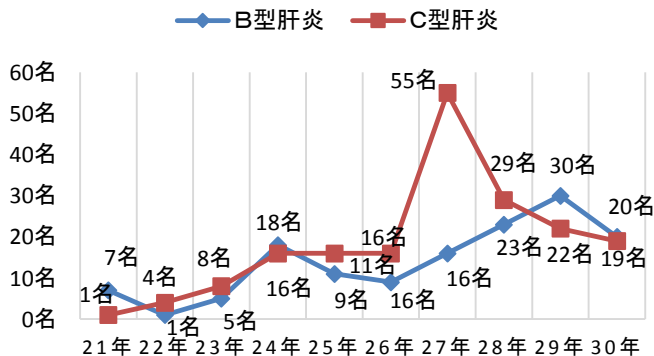
年度別相談件数(平成21年～平成30年12月)



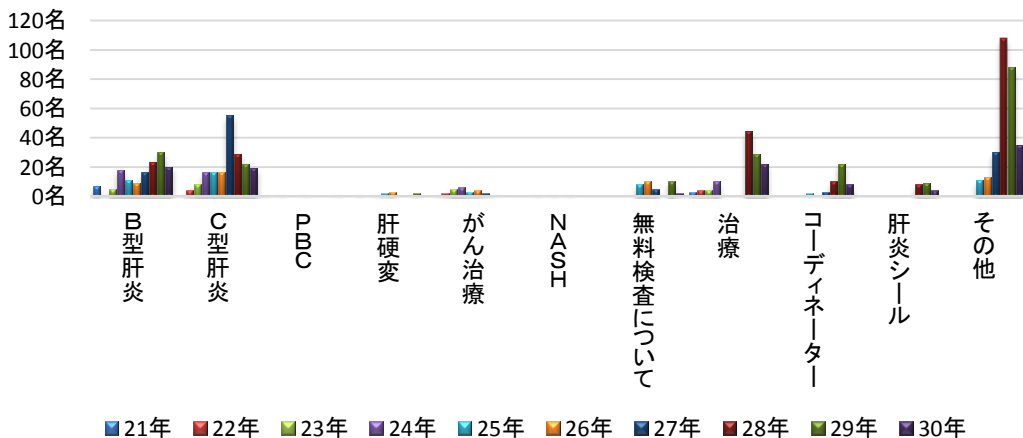
平成30年度の相談内訳(4月～12月複数回答)



年度別 B型・C型肝炎相談の推移
(平成21年～平成30年12月)

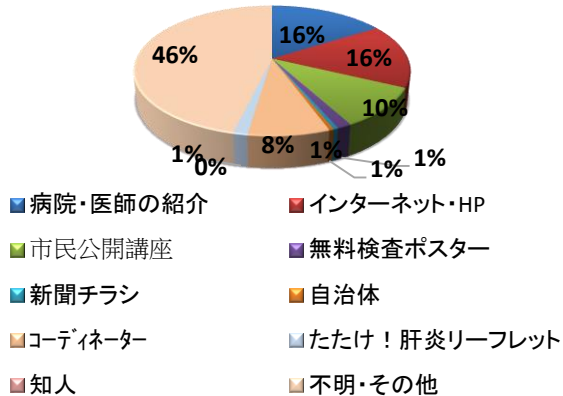


年度別 相談内訳 (平成21年～平成30年12月)

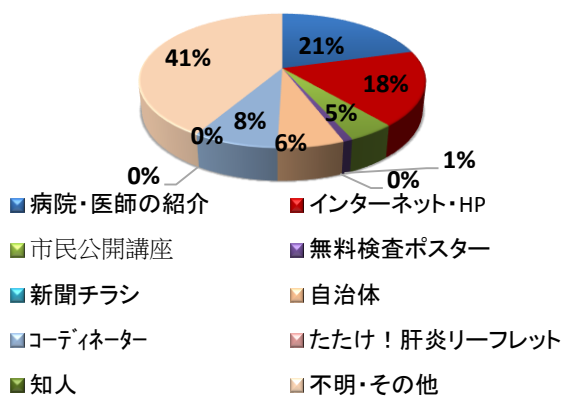


3.相談したきっかけ

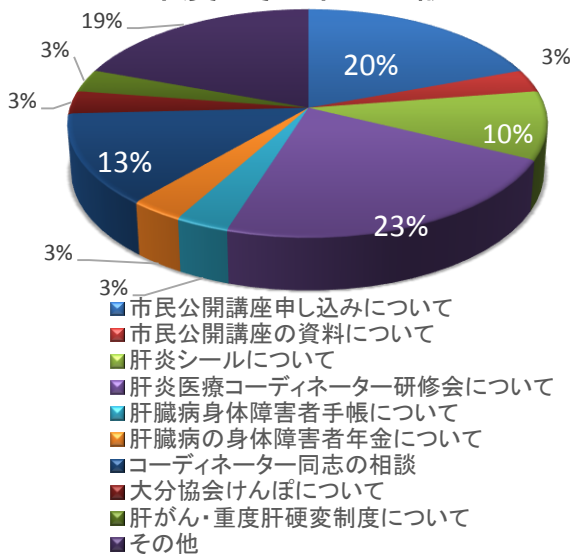
29年度 相談したきっかけ



30年度 相談したきっかけ(4月～12月)



30年度 その他 内訳



お問い合わせ:大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター
TEL/FAX 097-586-5504 <http://www.med.oita-u.ac.jp/kansikkan/>

◆家族支援講座

2015年より肝臓教室とともに活動の場を広げて患者様やご家族の方に向けて、支援講座を行っています。昨年より講座の中にふれあい交流会を取り入れ参加型の意見交換会や運動も実施し、毎年、多くの人に参加していただいております。

これまでの開催内容、詳細は、
HPにUPしております!!

肝臓病 家族支援講座 in 大分

—患者さんとご家族のために—

【日時】平成31年2月24日(日)

14:00～16:00

【場所】J:COM ホルトホール大分 3階 大会議室

大分市金地南一丁目5番1号

【協賛】 協賛 正 隆 先生 (大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター)

【協賛提供】 (14:00～14:40)

【講演1】「医療費助成、ちゃんと受けてる？」 (09分)

大分県福祉保健部健康づくり支援課 高木 道代 さん

【講演2】「重給について知っていますか？」 (09分)

大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター 清家 正隆 先生

【ふれあい交流会】 (14:40～15:40)

司 会 足立 和代 先生 (大分大学医学部附属病院 臨床栄養管理室 管理栄養士)

※理学療法士・管理栄養士を交えて参加型の意見交換会を行います。

(会場内で食品のサンプル配布と募金活動があります。)

テーマ【筋肉と肝臓病の深い関係】

講演1「サルコペニアの予防と早期発見」～講演と実技～ (09分)

大分大学医学部附属病院 リハビリテーション部 理学療法士 野内 優太 先生

講演2「今日からはじめるサルコペニア予防のための食事」 (16分)

大分大学医学部附属病院 臨床栄養管理室 管理栄養士 渡田 優子 先生

Q & Aコーナー (14分)

【個別相談会】 (15:40～16:00)

【サポーター】

高木道代 (大分県福祉保健部健康づくり支援課)、足立和代・渡田優子・平野恵 (大分大学医学部附属病院 臨床栄養管理室)

野内優太・高橋良太 (大分大学医学部附属病院 リハビリテーション部)、本田浩一・遠藤美月 (大分大学医学部附属病院 健康増進科)

主催：大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター

後援：大分県 大分市 大分県民会館 大分県民会館 大分県看護協会 大分県同病友会

※会場内の駐車スペースは限られていますので、ご来場の際は徒歩または電車/バス等の公共交通機関をご利用ください。ご来場をお待ちいたします。

お問い合わせ先

〒877-5593 大分県大分市赤松町大分大分1丁目1番地

大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター

TEL/FAX: 097-586-5504 E-mail: kansikkan@oita-u.ac.jp

「肝臓手帳」を利用して健康管理をしよう



氏 名	
生 年 月 日	
住 所	
連 絡 先	
かかりつけ医	

年 月 日	検査結果
身長 cm	HBs (+ -)
体重 kg	HCV (+ -)
BMI kg/m ²	検査結果

肝臓ウイルス検査
HbS (+ -)
HCV (+ -)
検査結果
大分大学 肝臓病相談センター
097-586-5504

飲 酒 量	具体的に 何を、何處から、どのくらい。
(有り ・ なし)	生涯飲酒量 kg
喫 煙	箱 ・ 本 / 日 年
(有り ・ なし)	

検査データ① (自分のデータを書き込みましょう)

	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
AST U/L					
ALT U/L					
γGTP U/L					
血小版数 万/μL					
AFP ng/mL					
PIVKA-II mAU/mL					
エコー / CT / MRI					

基準値のめやす
ALT 30 U/L 未満
AST 30 U/L 未満
γGTP 50 U/L 未満
血小版 15 万/μL 以上
AFP 10 ng/mL 未満
PIVKA-II 40 mAU/mL 未満

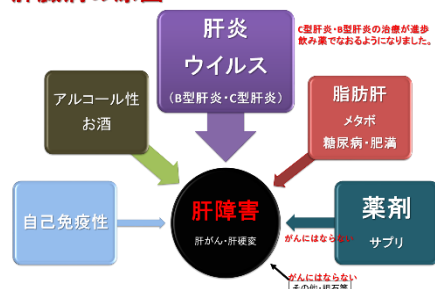
備 考 (何か気づいたことを書き込んでください)

当センターでは肝臓手帳を作成しています。肝臓手帳はウイルス肝炎による肝障害、メタボによる肝障害に対応できるように、工夫しています。患者さんご自身で記入して、健康管理手帳として利用しましょう。

肝臓病の原因

治療の基本は原因を取り除くことです。

肝臓病の原因



慢性に経過する肝障害

肝がん・肝硬変になります

肝炎ウイルス
アルコール性
自己免疫性
脂肪肝

飲み薬で治療ができる c型・B型肝炎
一日3合以上飲まない
免疫抑制剤で治療可能
減量・生活習慣の是正

一時的な肝障害

一過性で治ります・肝硬変・肝がんにはなりません

薬剤性・サブリ
胆石等
肝炎ウイルス等

飲むのをやめると治ります
胆石を取り除くと改善します
自然に治癒 A型肝炎・E型肝炎

慢性に経過する病気は肝硬変やがんになります。一過性の肝障害は原因を取り除くと治癒します。

「肝障害を指摘されたら」まず、HBV、HCV の肝炎ウイルス検査をしましょう。次にお酒を飲み過ぎていないか、メタボはないかを確認します。薬やサブリを最近始めていないか？

いずれも、問題なければ、自己免疫性肝炎を疑います。中年の女性に多いですが、男性にも発症することがあります。肝臓専門医に相談しましょう。

「**肝炎シール**」をご存知ですか？

肝炎血液検査は原則「**一生に1回**」でいいです。肝炎血液検査をした
ら、肝炎シールに結果を書いて、大切な手帳に貼っておきましょう。
肝炎血液検査をしても約8割の人が、「どうだったかな？」と忘れてしまいます。
肝炎シールを利用して、何度も検査をしないように心掛けましょう。

【一生に1回】 肝炎ウイルス血液検査をしましょう

肝炎ウィルス検査		
年	月	日
HBs	(+ -)	
抗原		
HCV	(+ -)	
抗体		
大分大学 肝疾患相談センター 097-586-5504		

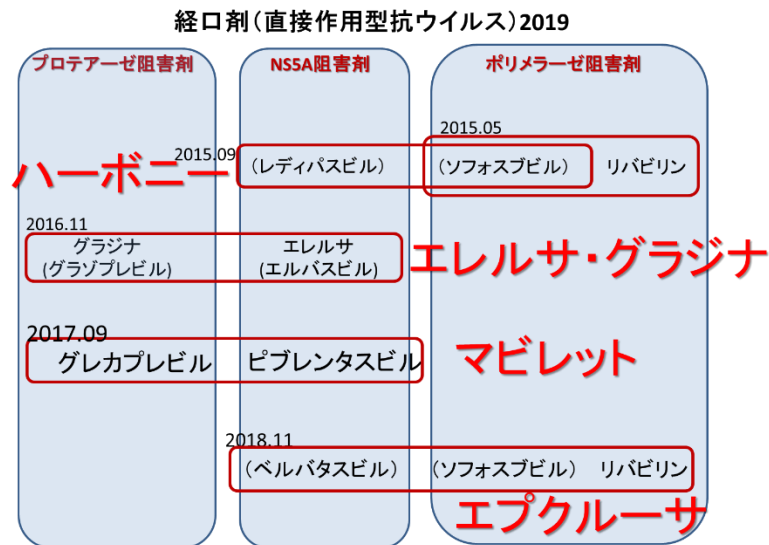
保健所の無料検査
を利用して下さい。
医療機関でも可能
です。
ただし、何度もし
ないでください

肝炎シール



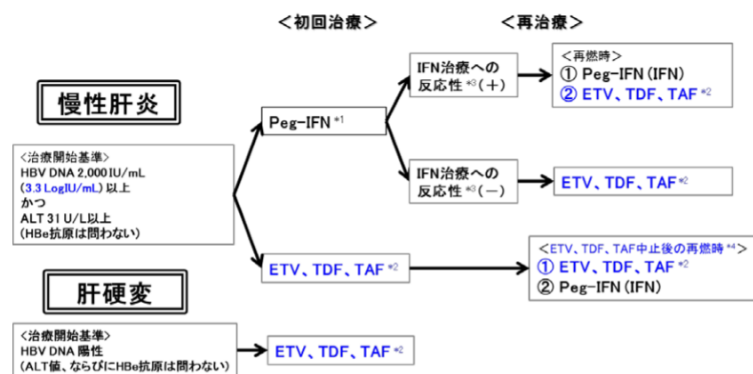
肝炎治療 2019

1. C 型肝炎



2019 年 2 月、非代償性肝硬変にエプクルーサという新薬が保険収載されました。飲み薬でうまくいかなかった方にも投与できるようになりました。これで C 型肝炎の治療が出揃いました。いずれも副作用は少なく、効果のある薬です。

2. B 型肝炎



肝臓学会ガイドラインより引用

B 型肝炎治療の基本方針です。B 型肝炎は自然経過の良い肝炎ですが、判断が難しい場合もありますので、経験豊富な肝臓専門医の管理下で加療してください。PegIFN（インターフェロン）を使用する機会は少ないようです。ETV（バラクルード）、TDF（テノゼット）、TAF（ベムリディ）により加療します。B 型肝炎は肝臓専門医に一度は相談しましょう。

大分県の肝臓専門医

大分県

大分市

- | | |
|------------------|--------------------------|
| ※ 大分県立病院 | 加藤有史、宇都宮徹、西村大介、高木 崇、寺師貴啓 |
| 国立病院機構大分医療センター | 室 豊吉、山下 勉、大塚雄一郎 |
| 有田胃腸病院 | 寺尾英夫 |
| えとう内科病院 | 松永研一 |
| 岡仁会大分共立病院 | 下山孝俊 |
| 織部病院 | 首藤能弘 |
| ※ 大分赤十字病院 | 成田竜一、福澤謙吾、岩城堅太郎 |
| 大分循環器病院 | 高橋祐幸、針 里栄 |
| 三愛会大分三愛メディカルセンター | 上田城久朗 |
| 仁友会森内科医院 | 森 哲 |
| 米満内科医院 | 米満春美 |
| 井野辺病院 | 石松俊之 |

宇佐市

- | | |
|-----------|-------|
| 宇佐高田医師会病院 | 石田健朗 |
| 宇佐中央内科病院 | 徳光陽一郎 |

臼杵市

- | | |
|------|------|
| 白川病院 | 白川典子 |
|------|------|

国東市

- | | |
|--------|------|
| 朝倉内科医院 | 朝倉康景 |
|--------|------|

佐伯市

- | | |
|-------|------|
| 杉谷診療所 | 井上雅公 |
|-------|------|

杵築市

- | | |
|----------|------|
| 杵築市立山香病院 | 小野隆司 |
|----------|------|

中津市

- | | |
|----------|----------------|
| ※ 中津市民病院 | 横田昌樹、永田茂行、大森 薫 |
| 久持医院 | 久持顕子 |

日田市

- | | |
|---------|-----------|
| 鶴陽会岩尾病院 | 岩尾 忠、安東栄治 |
| 新関内科 | 新関 修 |

豊後大野市

- | | |
|----------|------|
| 豊後大野市民病院 | 棚橋 仁 |
| 帰巖会みえ病院 | 松山幸弘 |

豊後高田市

- | | |
|--------|------|
| 高田中央病院 | 坂本啓二 |
|--------|------|

別府市

- | | |
|------------------|---------------------|
| ※ 国立病院機構別府医療センター | 酒井浩徳、川中博文、鶴田 悟、黒川美穂 |
| 大分県厚生連鶴見病院 | 大河原均 |
| * KKR 新別府病院 | 香川浩一、後藤康彦 |

由布市

- | | |
|---------------|---|
| ※ 大分大学医学部附属病院 | 瀧家正隆、本田浩一、岩下幸雄、遠藤美月、織部淳哉、
吉原光江、岩尾正雄、平下禎二郎、所 征範 |
|---------------|---|

玖珠郡玖珠町

- | | |
|----------|------|
| 麻生消化器科内科 | 麻生隆良 |
|----------|------|

肝炎撲滅をスローガンに



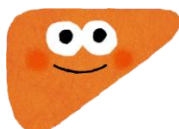
肝疾患相談センターに勤務して、1年を迎えようとしています。今までの看護師としての経験とは、違う新しい経験をしています。

肝炎対策の一つとして、2011年に都道府県に肝炎医療コーディネーターが配置されました。その当時は、インターフェロン治療やインターフェロンと内服治療と併せて3剤併用療法が行われており、看護師として副作用の確認や治療に対する不安軽減などの看護介入と治療が円滑に行われるような支援を行っていました。しかしその後、肝炎の治療は想像以上の進歩があり、看護師として介入する機会が少なくなってきたように感じています。患者さんにとっては、副作用もほとんどなく、医療費助成制度も整い、治療は著効となるので、本当にいい時代だと思います。

そこで今後の課題は、肝炎撲滅です。その取り組みの一つとして大分大学医学部附属病院では院内患者の掘り起こしを行い、ウイルスが検出されれば、治療に導くようにしています。知らないうちに肝硬変や肝がんに進行してしまうことがないように、働きかけています。今後は院内の掘り起こしが他の施設でも広がっていくこと、また、未受検のため感染に気付いていない人、感染したことを知っていても治療に至らない人、治療が中断されている人が、一人でも多く治療の完結ができるように、保健所や検診窓口の肝炎医療コーディネーターと情報交換ができ、受検勧奨から治療後の管理までを包括的に進めていくことが課題と考えています。

また、肝臓病の原因に生活習慣病からくる脂肪肝が多くなっています。メタボリックドミノの予防のために、肝臓を通して生活習慣病を考えるような学習会も企画したいと考えています。一緒に勉強していきましょう。

肝疾患相談センター 藤田 幸子



肝疾患相談センターの一員として

毎年、肝臓専門医（副センター長）の清家先生と、肝炎コーディネーター（看護師）の藤田幸子さんと事務の私で、拠点病院として、肝炎シールの普及活動や肝炎コーディネーター研修会の企画運営、市民公開講座・家族支援講座の開催、肝臓教室など、肝炎の根絶を目指し、3人で、色んな方々の協力を得て、試行錯誤しながら、活動しています。ですが、拠点病院としての活動には、限界があり、やはり行政の方や肝疾患診療連携協力病院等の協力が必要であると再認識しました。肝炎ウイルス検査の受検や、肝炎医療コーディネーターの育成など、今後は皆様と連携し、可能であれば、まず市民に一番近い保健師さんの肝炎医療コーディネーターを増やすことや、市民の皆様へ、一生に一回で良い肝炎ウイルス検査の受検を勧め、清家先生、藤田幸子看護師をサポートし、根絶に少しでも近づけるような1年になればと思います。



肝疾患相談センター 藤田 莉穂

◆今後の予定（肝炎医療コーディネーター向け 2019年間計画）

2019年4月～

- 肝炎医療コーディネーター研修会 年3回
(毎年 5月、9月か10月、1月 開催)
年3回のうち、1回は参加してもらい、知識の共有しましょう。

- 肝炎医療コーディネーター養成研修会 年1回
(5月～6月開催予定)

- 肝炎ネットワークin大分
(最新の情報を得られるセミナーとなっております。)

2019年6月～7月

- 肝臓学会 市民公開講座
 - ・6月15日(土) 大分市 総合文化センターiichiko音の泉ホール
 - ・6月22日(土) 別府市 トキハ別府店 7F レセプションルーム
 - ・7月6日(土) 別府市 リル・ドリーム

2020年2月

- 肝臓病家族支援講座in大分



あとがき

平成最後の年になりました。

1 月、梅原猛先生が亡くなったとの一報に寂しさを感じます。若い頃、梅原先生の書いた本にお世話になりました。とてつもなく広く、深い、先生の知性に感化されました。特に、「地獄の思想」には驚きました。本棚に並んでいる先生の著作集を眺めながら、感慨にふけています。少し時間の余裕ができれば、また、読んでみようと思います。

2 月、トップアスリートが白血病という衝撃的なニュースが飛び込んできました。日本を背負って活躍していた 18 歳の天才スイマーを突然襲った病魔であり、言葉を失った人も多いのではないのでしょうか？肝炎治療が劇的に進歩を遂げたように、この領域も進んでいるはず。どうか医療の進歩が間に合いますように。

もう少しで平成が終わります。私が育った昭和、社会人として生きた平成、新しい時代はどんな時代になるのでしょうか？

昭和は遠くなりけり。‘Old soldiers never die; they just fade away’.という感じです。若い世代に期待しています。

この「肝炎診療連携パンフレット 2019 作製にあたっては、藤田幸子さん、藤田莉穂さんに大変お世話になりました。また、大分県の高木道代さん、肝炎診療連携協力病院の先生方には、多忙の中、寄稿していただき誠にありがとうございました。

清家 正隆

肝炎シール

肝炎ウイルス検査

2019 年 03 月 02 日

HBs
抗原 (+ ⊖)

HCV
抗体 (+ ⊖)

大分大学 肝疾患相談センター
097-586-5504

一生に一度肝炎検査を

